No.197　　飛騨でビジネスを始めるとしたら・・・

担当：小澤

皆さんの小論文の力を向上させるために、皆さんに求めたい力を 3 つのステージに分けました。3 つ目は、ハードルが高いです（私自身が到達したいステージでもあります）。

ステージその１　問題文をしっかり読もう！

前回のテーマは、「**飛騨地方でビジネスを起ち上げる（あるいは企業を誘致するとしたら）、どのようなビジネスが成功すると思いますか。地域の特徴をふまえ、具体的なアイデアを一つ挙げ、その理由を述べなさい。**」でした。「アイデアを一つ」と要求しているのに、中には、2 つも3つも挙げてあるものがありました。試験だと、大幅な減点（あるいは0点）です。書くべき順番は、具体的な提案（1つ）を行い、根拠を示します。根拠の部分には、「活かせる地域の特性」と「提案したビジネスの予想される需要（ニーズ）の大きさ」を書きましょう。

ステージその2　説得力ある内容になっているか？

皆さんの提案内容を分類すると、自然活用や観光が全体の 50%弱を占めました。大型ショッピングモールや映画館など地元消費者に向けたビジネスが 15%、高齢者福祉関係（7%）、木工などの伝統工芸分野（6%）と続きました。自然・観光系では、単なる名所観光ではなく長期滞在してもらうことで、移住促進と結び付けたビジネス、外国人と地元民の交流ビジネスなどが目を引きました。皆さんの多くが、国際的なビジネスが飛騨で成功するという感覚を持っていることもよくわかりました。高齢者福祉関係では、高齢者施設と幼稚園を同じ敷地内に併設したり、カフェなど気軽に出入りできるスペースを設けることで、世代間交流を図るビジネスの提案もされています。伝統文化関係では、飛騨の匠の全国派遣サービス、その他の分野では、古民家を利用したテレワーク促進なども提案されていました。

ステージその3 さらなる高みへ　～飛騨のことは、飛騨だけみていてもわからない～

調べる時間がほとんどない中、上記の他にも「なるほど」と思う面白いアイデアがいろいろ出されました。しかし、「既にどこかで聞いたことのあるような」、あるいは「もう既に実際に始められている」提案もかなり多かった。今回は小論文でしたが、もし社会に出て何かビジネスの提案しなければならない時は、豊富な知識、広い視野をもとに、誰も思いつかなかったようなアイデアが求められます。例えば本校でワークショップを開いてくださった『美ら地球』さんの行っている里山サイクリングは、国際的視野がないと発想できないビジネスです。また奥飛騨では温泉水を利用して南国の果物、ドラゴンフルーツの温室栽培をしている企業がありますが、これも飛騨だけ見ていては思いつかない、それでいて飛騨の特徴を活かしたビジネスでしょう。国内外のさまざま情報にアンテナを張り、自分自身もさまざまな体験を積む。地域で得た知識や体験が、日本や世界各地のことを考える材料になる、逆に日本や世界各地について学んだ知識や体験が、自分の暮らす地域について考えるきっかけになる。そんなことを目標にして欲しいと思います。豊かな発想は、豊かな情報から。私も授業その他で、そのきっかけを作れるよう頑張ります。今回は、ありがとうございました。